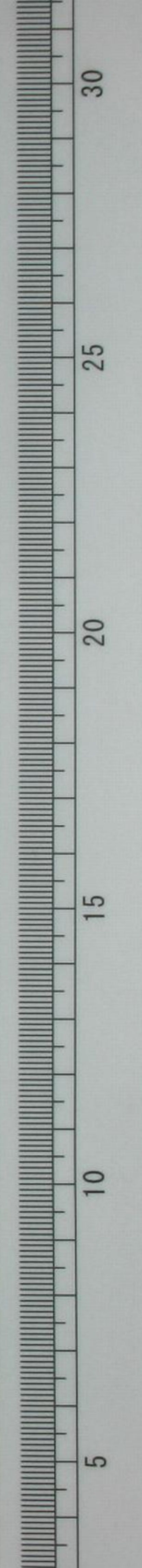


413
915
1



十九本月 甲陽軍鑑末卷下

傳謂此早行真分テ置クトモ
別草上テ産相ニテアラス行真上テ
念ヲ入ニテアラス

城取之股ハ一山本勘次入道乃思流是也

一説ハ早上テ城ノ大森ナルヲ云
行トハアシク取
タルヲ重直シテ
ヨクシタル繩ヲ

一 草乃習 二 行ハ習 三 真の習

云也タトハ虎口ノ近ク本城トニノ郭ヨリ合タル處ニテハ馬出ヲトルニ
真ト云ハ城ノ格ノ定リタルヲ
云ナリ

弟ニ繪圖トシテトシヨクナク架

早九馬出トハ土居ヲ録ルルニ
門モナシ門アケカモヨクモ早ナル也
ニツ門ヲ立スリタトハアツク馬出
イホリタルヲ
イ也堀ヲホコ
トモ有ホラス事モアリ

第一繪圖七ツノ度

一 角馬出 二 お律形 三 草九馬出

四 一門二の門五土井敷 六 間敷

七 丸馬出あ方之間れり

此七ヶ条一枚ノ繪圖トハ此ヶ條ノ通テ
画圖ニアラズシタル圖アリアラズシテ
用ニテラス

此七箇条一枚乃繪圖書各有口

和ニ云圖トハ次十二目ウラニ有圖ナル

傳卓城取終

第二

一 馬出を此虎口 二 神の形或三 此曲輪本城西下れり 此等因下り此

○長橋端廣き所川有
○城三其橋イッレニ長橋
敵渡り入ルニ城
堅固ニ長橋
ヲ渡り来ルニ
拂ニ長橋ヲ常ノ道ヨリハ幅セキニ未リニ殊曲輪ナトヨクキ拂ハ極堅固ナリ

第三

一 後少け式ハ池遠わ了取様 二 卓此角馬が式ハ像ハ普精ノ用也 三 神形向虎口各在傳

第四

○出井形トキル
二 虎口升形
ト云ナリ
横行ハ横丑間ニ登ハ間ノ虎口升形ハ門前升形ト云ナリ

真此名馬付 此ハ一ツニ圓輪 二 虎口 形五八但換行九下在口傳

第五

○角馬出ハ必西袖ニ升形ヲ取九馬出
時ハ左ハカリ取ル事モ有左ニ取トキハ
左ヨリハ攻入ヨキニ左ニ必ス升形ヲ
取ニ西袖ニテ
ヨケレトモ各
テ一方ニ取キ
必左ニトルナリ

真此名馬付 此ハ一ツニ圓輪 二 虎口 形五八但換行九下在口傳

二 大換曲輪捕丁ノ板不立此形及此者在此傳

第六

一 換矢味形 二 換矢いつ 三 換矢屏風 折 四 換矢磨落 五 換矢角唐

○三角ニモ四角ニモ折出スナリ
○屏ヲ折リ出シテカケ作りニスルナリ

○所ニ角ノタチタル所ヲ其スミヲ
落セハ換矢ヨクキクニ三角ヲ落ス

第七

一 東城の本圖 二 是より付る本城間敷大
中小傳る大極多也單之終

二土橋ノ外ヨリミ(スク所ニナリ) 行ノ習城取八箇条ノ支

三三ノ用ニ極ヲホリナリ横矢ノ掃ヨキ所ナレハ三ノ角ニホラス 二土橋ノ支

四山城ニテノ事 乃櫓 付二階式ハ二階ニ在 五本城ニ

山城ニ高下アリ或ハ本九ヨリ三ノ千ノ敵 乃櫓 付二階式ハ二階ニ在 六水櫓

事ニハテ上ヨリ敵ヨリ 乃櫓 付二階式ハ二階ニ在 七 八ノ形ノ馬カ 付 二ノ形

乃櫓 付二階式ハ二階ニ在 八ノ形ノ馬カ 付 二ノ形 形繪滿ノ支

四平城ニ分形ヲ用ル上ノモ山城ハ山形九キニ曲輪モ九ク所ヨリテ脇ノ矢キカヌル事アリ出升形ヲトルトキハ

矢ヨクキク其ノ上平城ノ外(付多敵ヲ掃ニ外曲輪ノ升形ヨリノ横矢ノ外ハ外曲輪ノ升形ノ外ノ用ニホ立ナリ)

山城ノ升形ノ外曲輪(敵ノモ) 眞ノ習城取十五箇條ノ支

鑊炮矢トシテ取ナレハ本九ヨリ 陰陽和合ノ繩場切ノ用 二分城

故ニ山城ニハ 一入肝要也 二山城ニハ 三陳城是ハ女ノ誓也 四山城ニテ形ノ用

トシテ依テ 山城ノ形 五山城回輪續ノ成用在口傳 付 坂目ハ城

下谷ナト 有テ部ツ 六連虎口ハ兩方ノ 二合攝久ノ支

キカヌル物ツカヌモ 敵(下ラレタル時) 大ニテ十ノ八山城を子細ニ十ノ七持成

城ノ如クシテナリ 故ニ高下アル所土 三ツノ支 一ノ不海捨

居ナトミラシトミ谷ナト有レハ橋ナトカケテ ツノ如クニ取テ 二合攝久ノ支

六連虎口ハ兩方ノ 二合攝久ノ支 三合攝久ノ支 形九馬出ニテ神ヲ用

虎口ノ脇ニ兩神手 形九馬出ニテ神ヲ用 一山城 二分城 三平城

山城 此外云別変

六 透虎口兩神丸陣形九手がしり

七 四輪馬が 八 虎口がしり 九 馬がしり

十 橋奥成廊下 十一 かのりの堀

十二 一輪 十三 堀がしり

十四 馬溜り 十五 陰の城陽乃城 付 陰の

城は小舟の侍大杉山中小屋城也しり

のちり

のちり

右 陰乃城は不働陽乃城は働物陰乃城は

陽乃城は陽乃城は陰乃城は別次也

口傳多し

右十五箇条の内也 付城 陣城 付取

おれ変三股少女宛の誓りと物中陳城山

敵虎口のしり 三様在殊よ大敵

小敵或は若敵より口傳多し如件

備押詰家中尼法五箇条に变

付 かのり

備押詰家中 是馬場山縣高坂の藤も 如手備頭ノ備押ニアラス 付 かのり 尼法五箇条に变

物旗奉行 甲列家ハ他家ト違ヒ二本ノ馬印モ旗ナリ故ノ家ノ数旗トニキル 尼法五箇条に变

右十五ヶ条 付城ハ敵ノ城ヲ攻ル 付城ハ敵ノ對シテ 取也敵城ハ取有 付取ニ付城也

陣城ハ山陣取 陣大将ノ陣ニ居テ 陣ニハス云也 取出ハ吾城ヨリ 其脇城ヲ取テ我 城ヨリ取出ト云云 ナラハ 有テ大坂真田丸 如シ又敵國ハ入テ能地形 城ヲ取テモ自國 ヨリ取出テ陣ヲ 取テリト云意ニ是モ 云アリ

△取出城ハ敵ト對テ取出故ニ三ノ内ニテ念入付城モ敵城ハ付城也云 陣城ヨリ念入陣城ニ陣城ニ在陣ニナリ

ナリ

即是惣旗也他家ニトイ馬子ハ異類異形ノ物ヲ持タルナリ

一惣旗奉行貳人内一人先へ其次は小旗と
一人の奉行跡は其間扱旗也坊者道
廣く惣小旗成二つは口もあ方におし

二被官主大将ノ
家来同心足輕
大将ノ預ル騎馬
ナリ今類ノ
本ノ手カクニ
類アリ二行ノ
トキ戰陣ハ右ラ
タフトエ右ラ
先トシ當番アリ
非番左ナリ太鼓
當番ノ方右ニシテ
キナリ人教二備ニテ
トモアルトキハ足輕
ノ大将ノ外トニ所
押大鼓有之是ハ
士大将ノ押大鼓
トニテハ先トカスル
故ナリ五百千人教位ニテハ士大将ノ大鼓一ツヲ押スアリ

二弓餘炮足輕流但足輕大將我波官道同心與
成つて是は糸を押也道廣く小旗成二
つは口もあ方におし殊更當番を右と
二番目ハ九押古鼓ハ當番ハ方々ナリ
是ハ人教貳人とも在ハ共通ノ儀也

大軍ハ片ハ二百二百ノ小備ニモ各太鼓アリ一備ツテ押大鼓ヲキツセ爰ニ云フ処ヒツキヨウ五百千人教大鼓ナキカト
疑ニカ為イケホト
小備ニテモ一備ツ
ワカリタルトキハ
一備ニ大鼓アリト
知セン為也

亦五百人ノ人教ハ太鼓一ツヲ備成押
行也惣中大军ハ一組きりしは左鼓
ありし傳也

三惣旗柄籠是也五拾本ハ一騎宛ノ奉行
在此奉行籠の先は糸を但侍大將ハ長
柄籠ハ其次知行役ハおと籠也

四侍大將親替其次馬中貳本其次押
左鼓其次歩也者侍大將ハ馬のまじり
中間小者其次同心流其次侍大將我家

中代馬乗る人

五組の元之此儀式は押也五騎十騎或之

五拾騎百騎百五拾騎此相備也此分也

跡之此備頭は被任侍大拍此初次

なり惣儀成心御座形様より被任か人

女も透宵ならざる者也如件

口傳別事
小徳備中
二何備中
備押先

六右家中代扱旗惣乃之此人存在口傳

七両方押は橋わらひ右より先へ渡り是口

傳在

八此下よりれざる不被写

九行前敵地より道あり此より多て受ゆる

御旗本より新衆成申うけ道行り

とるやも

十此下切る不被写

十一此下きれて不被写

〇かきこつた

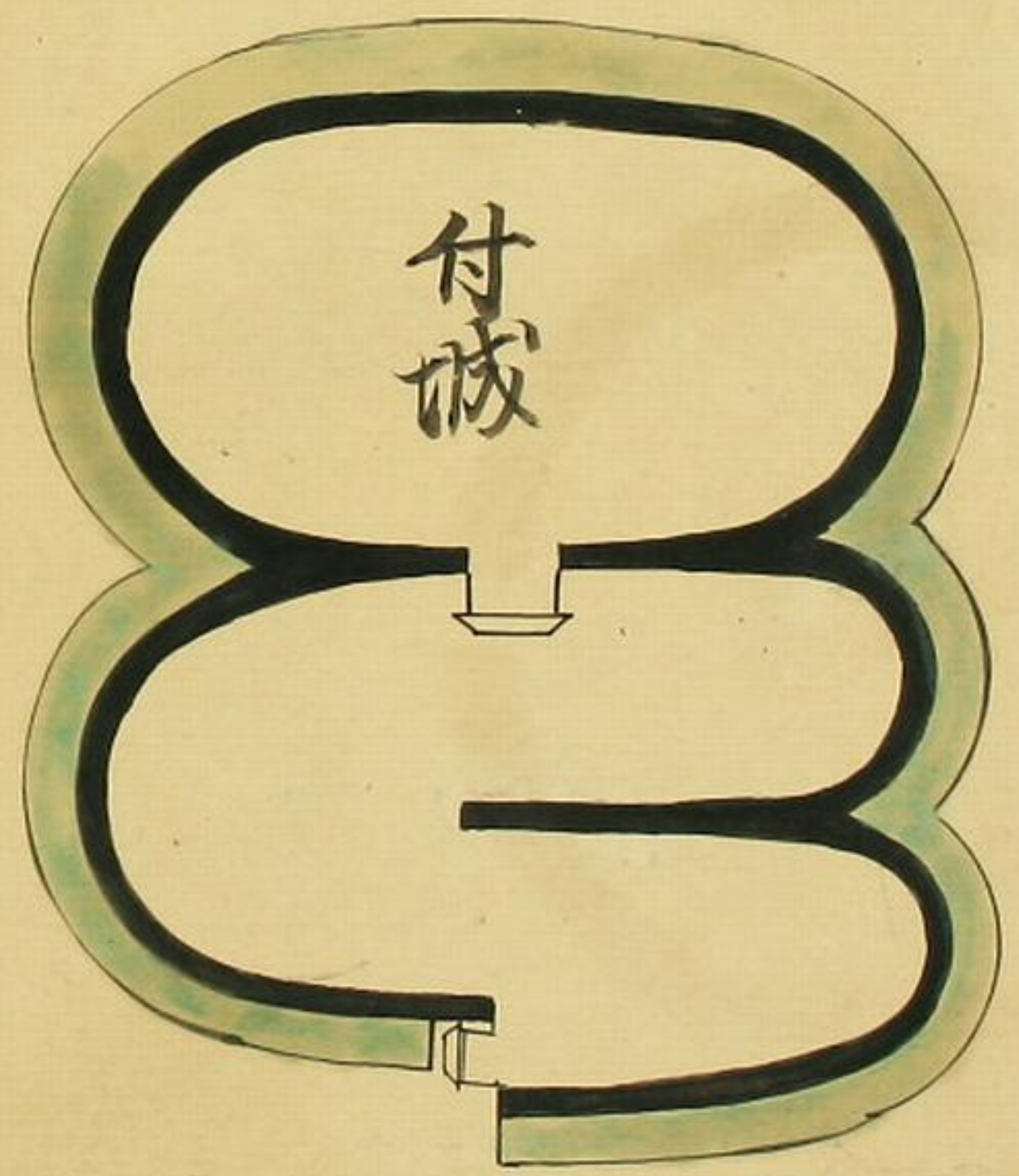
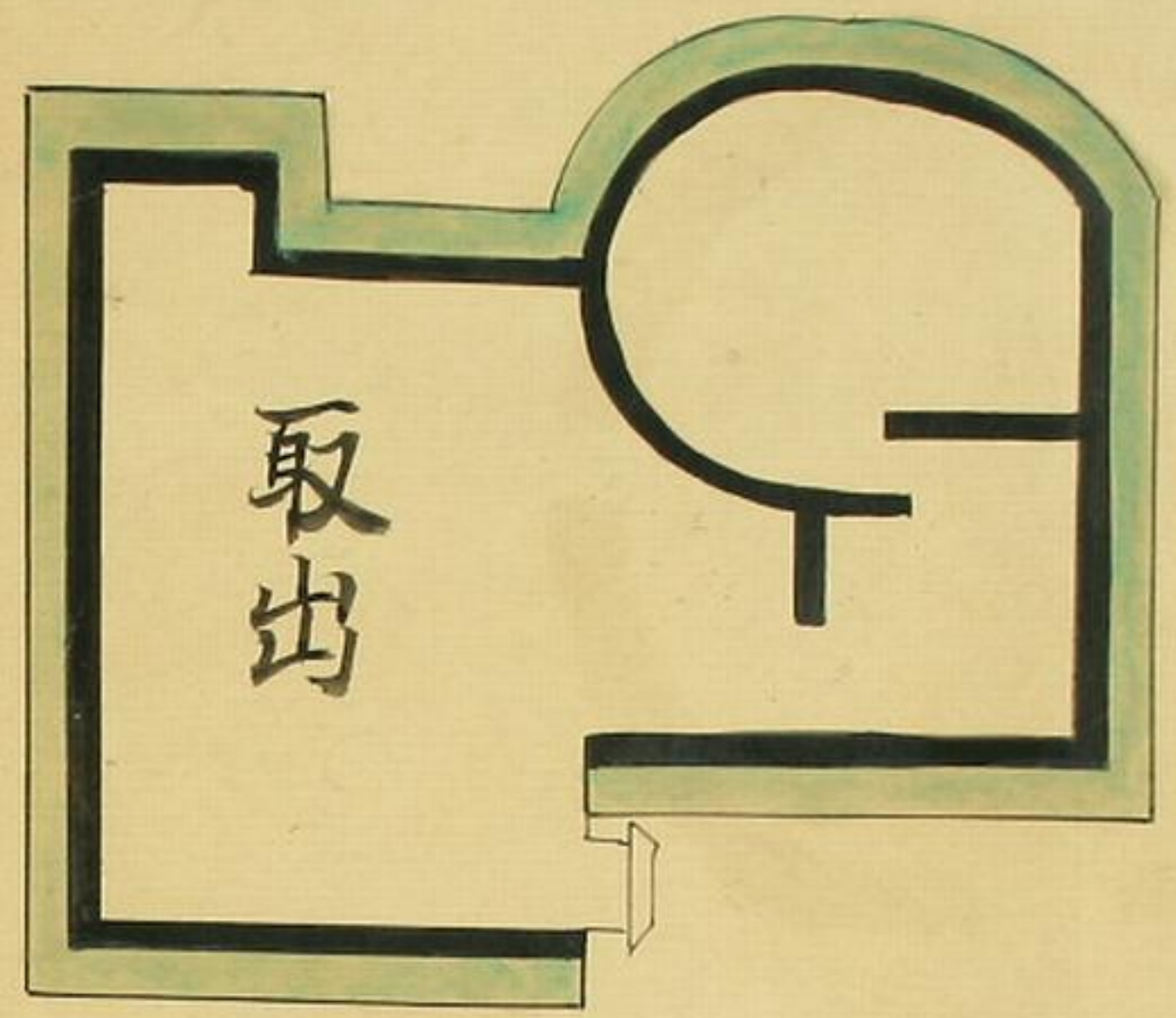
一回輪 二屋敷 三土居隣し

右より材木石捨土場れきハ一切不可

カサノ屋敷
小口向ノ明キラ
敵ヨリニスクミユル処ニハヤキヲトル事アリ所ヨリ其屋敷(城内ヨリ橋ヲ渡シテ塙ニカニヲ切テ鉄炮ヲ敵ヲ
ウツ)

壘城の形はいろいろの也

一 厩防大人小人のあて指渡り人三里毎
を廣さそそ尺五寸向れ作りを尺人也



ケナイ書物ノ外題ナト如ク一曲輪ニ屋敷三土居敷ノ事ニテナリ

一 かくしのをぬすくまらふと之は箇条はよく
何處の城も大小うまに皆如此



○山本勘助が五箇条ノ度

一 山本勘助入道道魁赤八本國之河牛久保

乃者也

二 十六歳 本國 武者修行或行流
之法なりと云へ日本國武家の儀改し

十の^六間也 明應 九年庚申此年也

三 拾一 月より 後勅 へ奉りし 今川 義元 家

家より 今川 乃 宰人家老 原殿と侍

大拍の^六抱成 治九 年 後勅 へ奉りし 氏義 元

云御抱なりと故 甲別 信玄 へ被召寄りし

四 勅助 甲勅 へ 四拾 四歳より 奉 作共時分

信玄云 貳拾 之歳也

五 信玄 云 冬拾 一歳より 法林 此時 勅助 五

十歳歳より 法林 仕道也 氏義 作六十

二歳より 河 中島合戦より 討死 仕を 祭

甲勅 より 氏義 其外 軍法 悉皆 山本 勘

助流 なりし仍如件

十九本月之内 甲陽軍鑑末書下卷

是備頭ノ備押三ノ人数多キ
考ノ先ノ頭書
馬場山縣十ノ
備押先出
スル此事
ナリ

諸家中 備押十冬之箇条

一 扱旗 二 弓矢炮足輕丸 三 役長柄

四 兼替ノ馬 五 馬印

六 侍大扨付馬前ノカセ者共先ノ付替共次

押大毅其次跡もて小人中間共但持替

貳本馬ノ両方乃脇ノカセト付也

七 同心丸侍大扨被官丸付被官四五騎侍

大扨丸先ノカセト付迹ノカセ台次三騎ニ

カセト兼付カセ子細ノ先カセノ使ノ被ノ被

八 役長柄奉行貳人並乃小旗乃奉行貳人何

被替丸カセノ道具ノカセノ兼但一日カセ

各番カセ

九 侍大扨ノ馬印二本奉行是カセカセノ各番

付付替奉行カセカセノ兼是カセ右カセ各番

也但右の方ノカセカセカセカセカセカセカセ

者奉行貳人侍大扨ノ女先右カセノ兼是カセ

各番右ノカセカセカセカセカセカセカセ

十 武者奉行貳人 二馬駿奉行貳人 三持槍守

行貳人 此六人 其家中此六奉行也 奉行是也 相言其法度右六奉行也 廻りも番也

少也 相又備押の時敵地は少人か物見よ

行伴は六奉行三人 明番は武者行也

十一 敵押向く同ハ之者成はりも是也 一 間見

二 見分ニ 目附指越あり 此間見見分目

付ハ 目ハ 是遠く見分と間見也 伏て

見分は見分也 内ハ 目付也 目附也

十一 間見 敵合遠キ 其間向ラカライ ツレノナ向アイメ ヨリ此本三テ人教 何人トツモリ又ハ 先(ス)ミ先指物 ナト見 付シテ ソレアリト

必其敵ハ 一ツ洞とハ 口傳

十二 間見 一 敵ハ 人数積る人 一 三股在上中

下道 三股ハ 一 間見 一 二 少遠 一 三 大

を 三股は 目前人物と 大程 四角 存在は傳

十三 備押 乃 廣くハ 両方と 分て 擬態 十 中

少付てハ 中 宛 命 是 法 事 何 也

○ 城取 同 敵 大 中 小 三 股 之 事

一 字 拾 八 万 字 方 但 東 西 南 小 何 方 へ 七

少 可 記 其 備 武 其 其 山 何 也

目附敵備押陣中ノ中へ交リテ敵ノ手段ナト見ツ陣ノ役此ハ細談ラミテ敵國ノ物言ナト知テ其國ノ者ノ如クニ云々ノ事アリ 此三人三段ノ言葉同シキ片ハ縦ハ万人教アリト 三人ノ口上ノ通アイタル片ハ 敵一五ト知ルナリ

目附敵備押陣中ノ中へ交リテ敵ノ手段ナト見ツ陣ノ役此ハ細談ラミテ敵國ノ物言ナト知テ其國ノ者ノ如クニ云々ノ事アリ 此三人三段ノ言葉同シキ片ハ縦ハ万人教アリト 三人ノ口上ノ通アイタル片ハ 敵一五ト知ルナリ

右十六間ハカクシニ
 カクシ敷トハ土居ノ下ニテリタル地ノ事シ土居ノ下ハカクシ敷ト云ハナリ
 二屋敷構 堀是屋敷又ハ城トモニカ子テ云タルハ大摩本九堀幅十間ニ九ハ堀幅十三間ニスル外堀ハ十五間ナリ此大
 概ヲ考テ外堀ハ是ヨリ廣カルニ

右十六間ハカクシニ
 堀ノ深サハ二間ニシテ
 堀ノ幅ハ十間ニシテ

二反 変換國持ノ後ニシテ百之拾六間ニシテ

一 変換ノ後ニシテ堀ノ深サハ二間ニシテ堀ノ幅ハ十間ニシテ

右十六間ニシテ堀ノ深サハ二間ニシテ堀ノ幅ハ十間ニシテ

寺ノ深サハ二間ニシテ

三 深目謀ハ侍大御百騎式百騎ハ百騎
 子孫ハ其侍乃トシテ深目也

△本謀陰二二ハ陽在口侍

付 五拾九間 上 在口侍

付 四拾九間 中 在口侍

付 三拾三間 下 在口侍

右如形ニテ其ノ大小ハ様子又ハ其ノ深
 深サハ物ノ平ニシテ其ノ深サハ物ノ深ニシテ
 其ノ深サハ物ノ深ニシテ其ノ深サハ物ノ深ニシテ
 其ノ深サハ物ノ深ニシテ其ノ深サハ物ノ深ニシテ

一 其ノ深サハ物ノ深ニシテ其ノ深サハ物ノ深ニシテ
 其ノ深サハ物ノ深ニシテ其ノ深サハ物ノ深ニシテ
 其ノ深サハ物ノ深ニシテ其ノ深サハ物ノ深ニシテ

何後シトニ
 シトニノ敷ヲ入テハトハ
 右五十九間以下何モシ
 トニノ土居敷ニテ入テ
 土居敷ハ五十九間四
 九間四十九間四十三間
 角アルハ角ヲ添テ横矢
 横矢キク如クニシト云ナリ
 小曲輪ニ 山城ノ事ニ 山城ノユロ見ユルハ郭ヲタカヒチカヘニツケテシト云事也

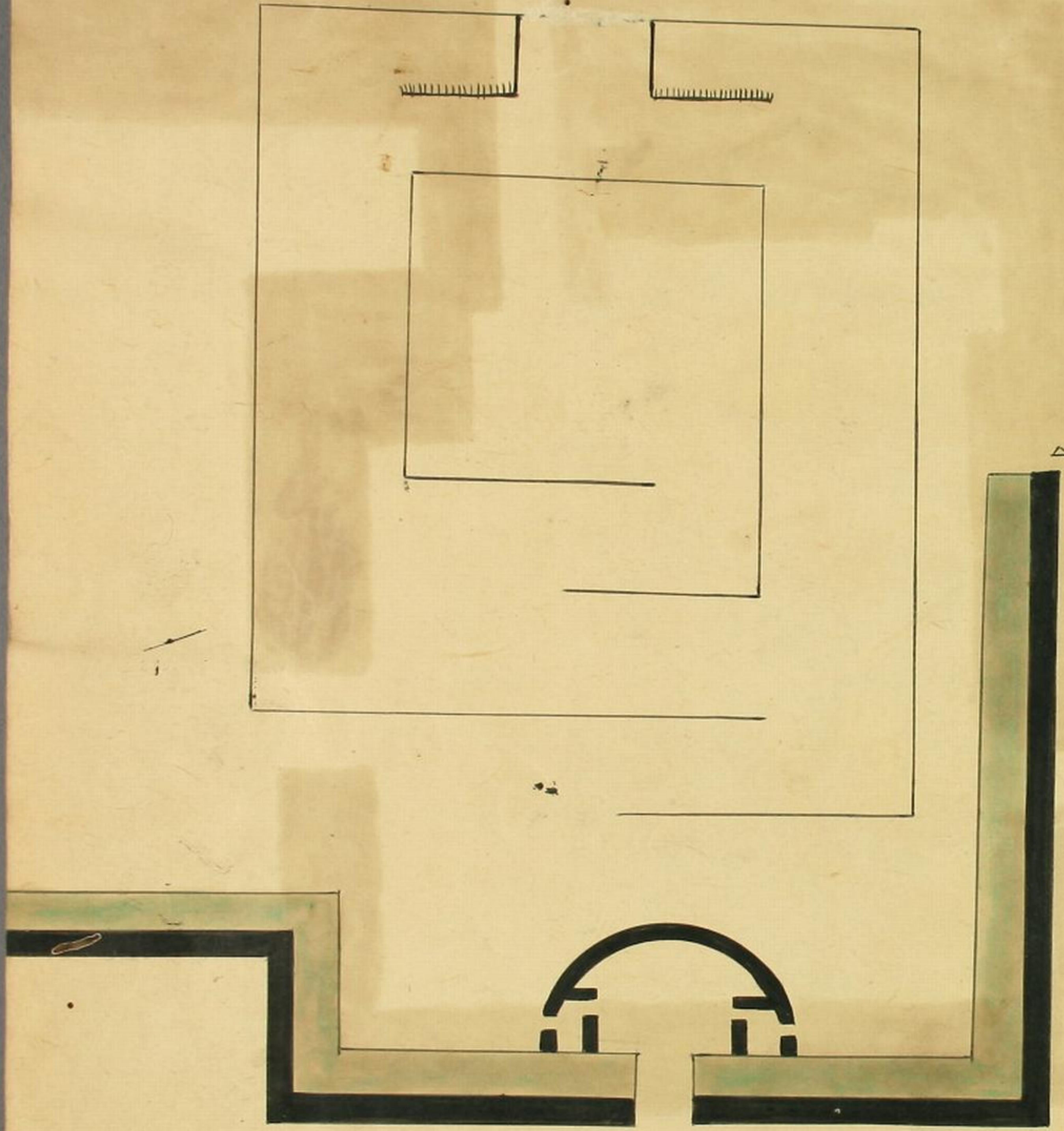
角アルハ横矢取トハ角ノ處ニテ横矢キカ又處有其キカト云意ニテ横矢ヲ取ト云ナリ如此

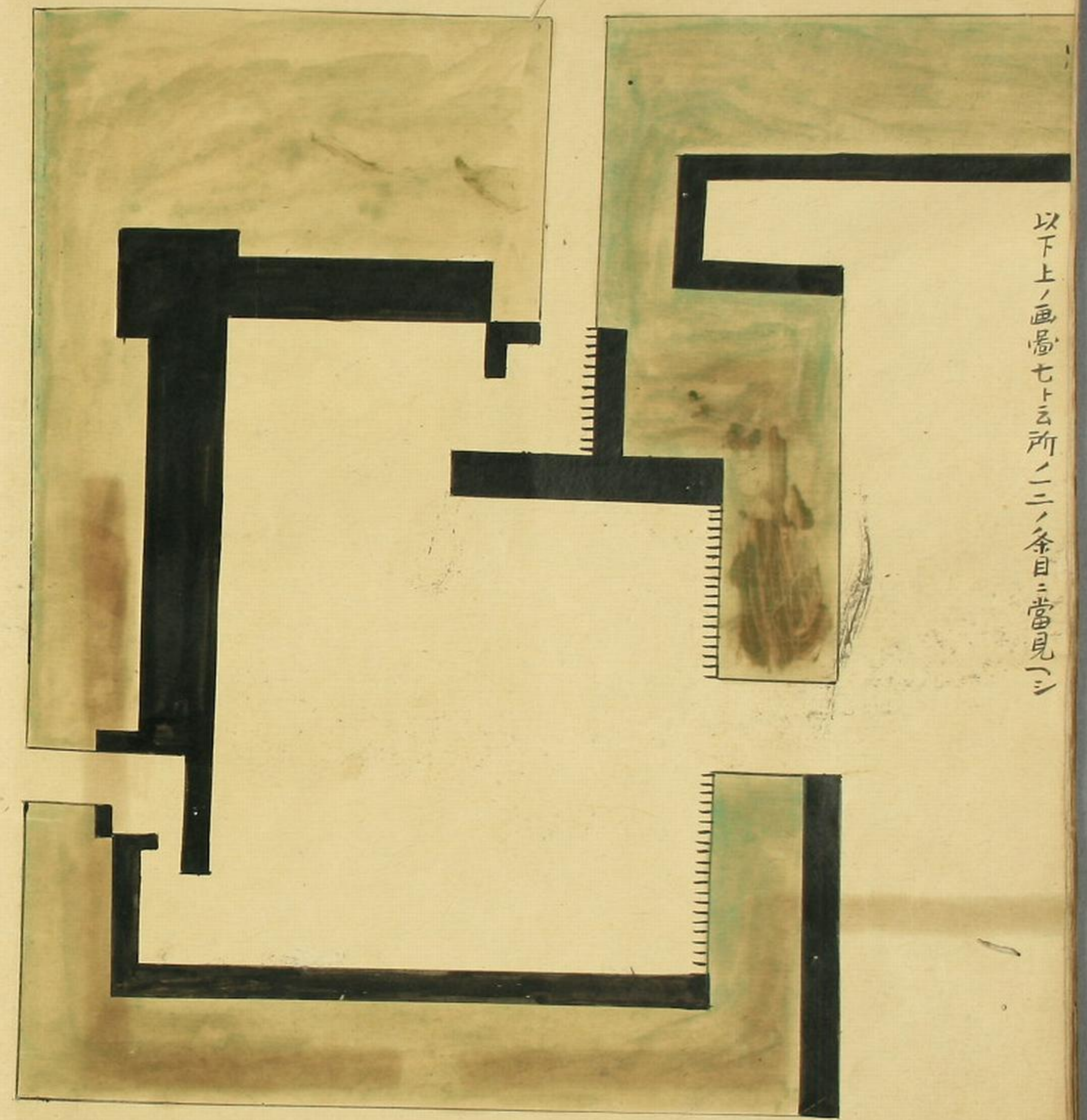
城、河、海、自、之、口、以、其、角、而、建、八、換
 矣、能、居、小、曲、梅、之、清、色、志、心、何
 肯、口、傳、多、一、仍、如、伴、

此書物九品一團子紙較

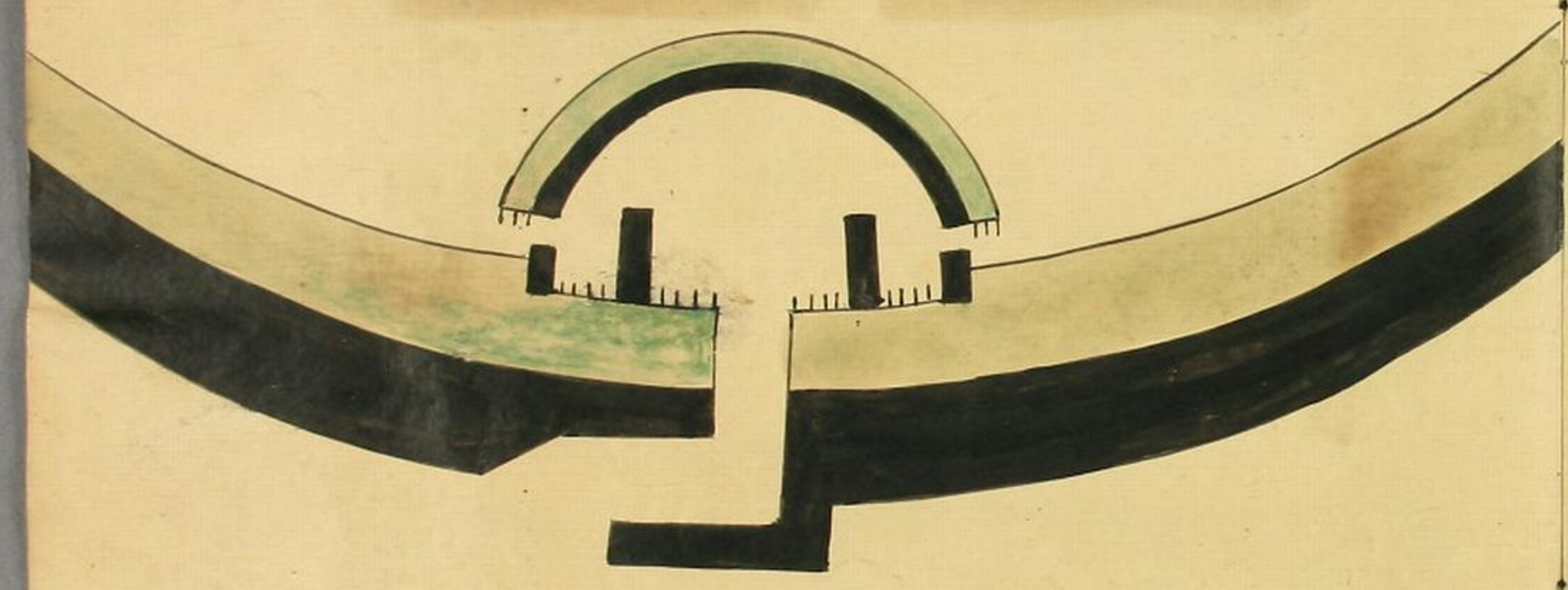
多、作、每、取、迴、亦、自、由、作、設
 九、本、七、九、冊、結、以、事、尾、細

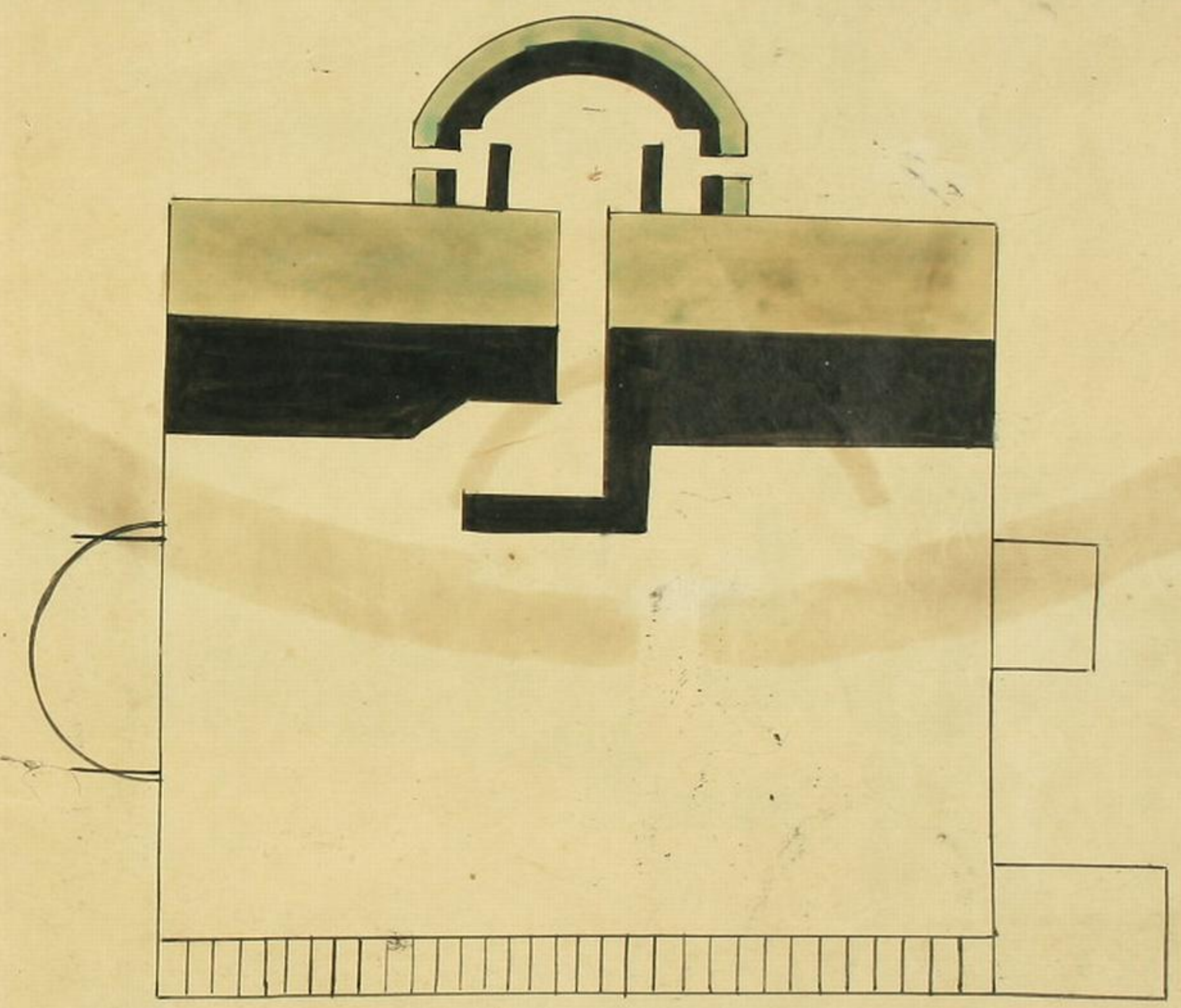
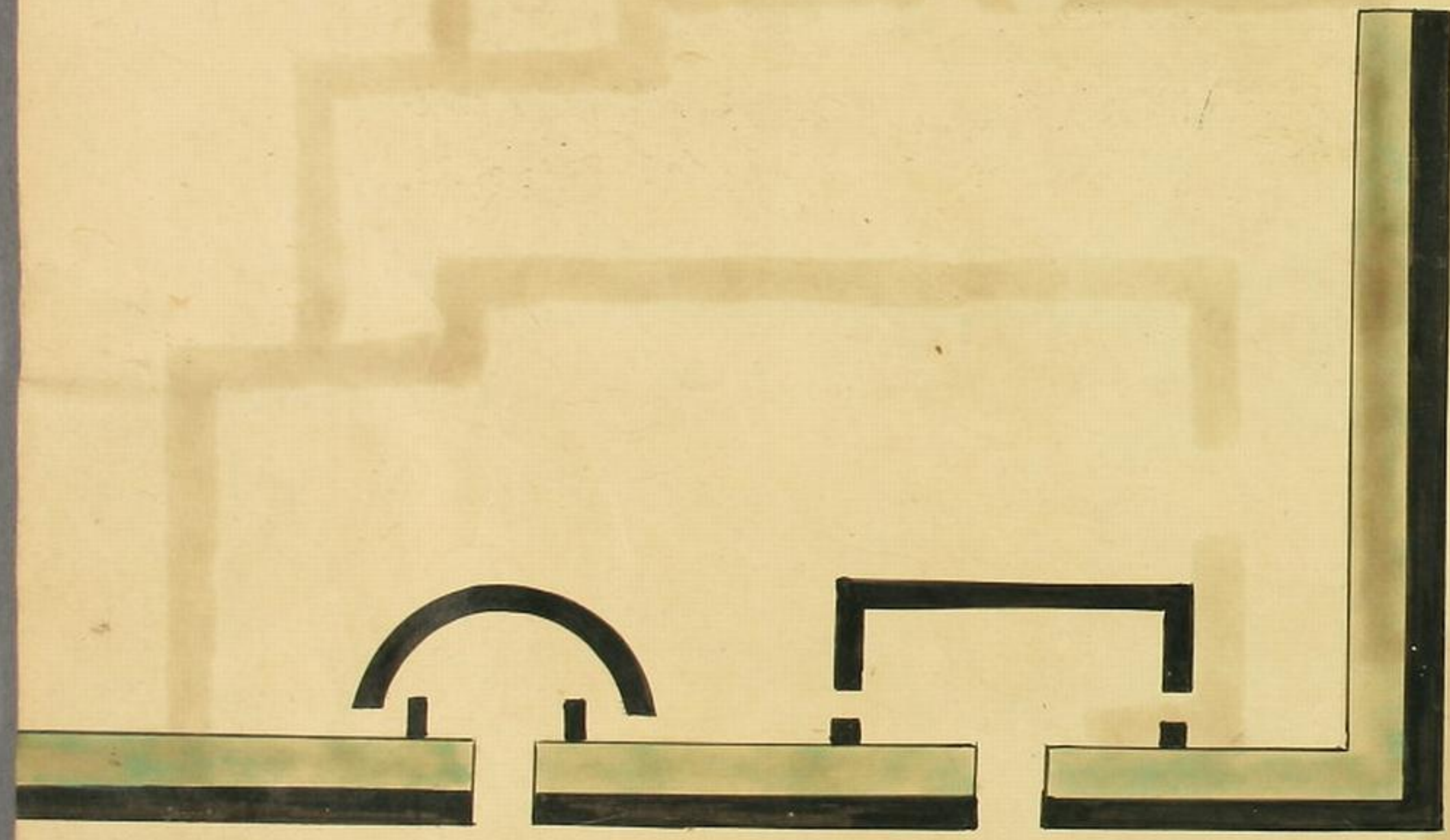
勅、告、清、如、此、也

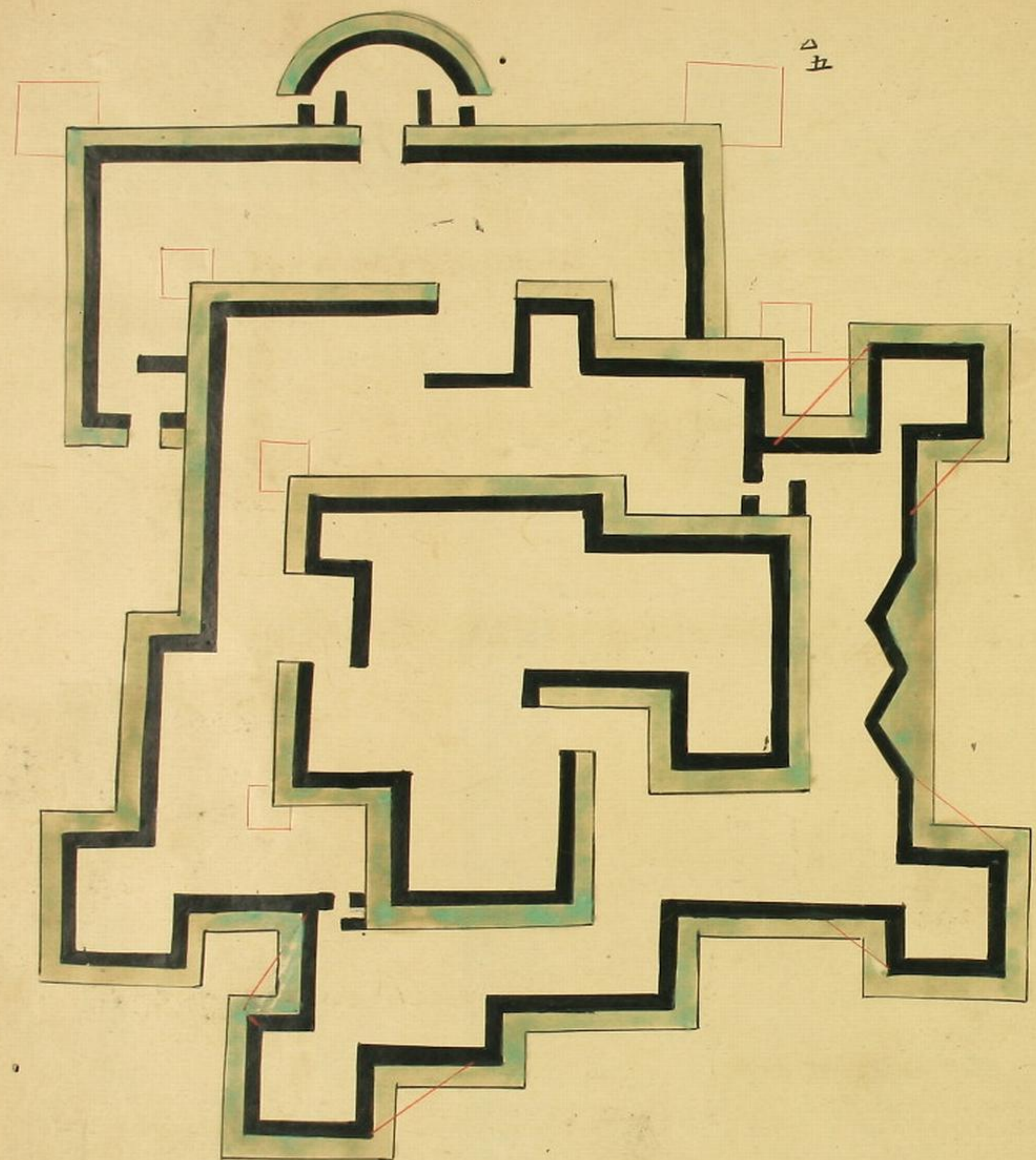




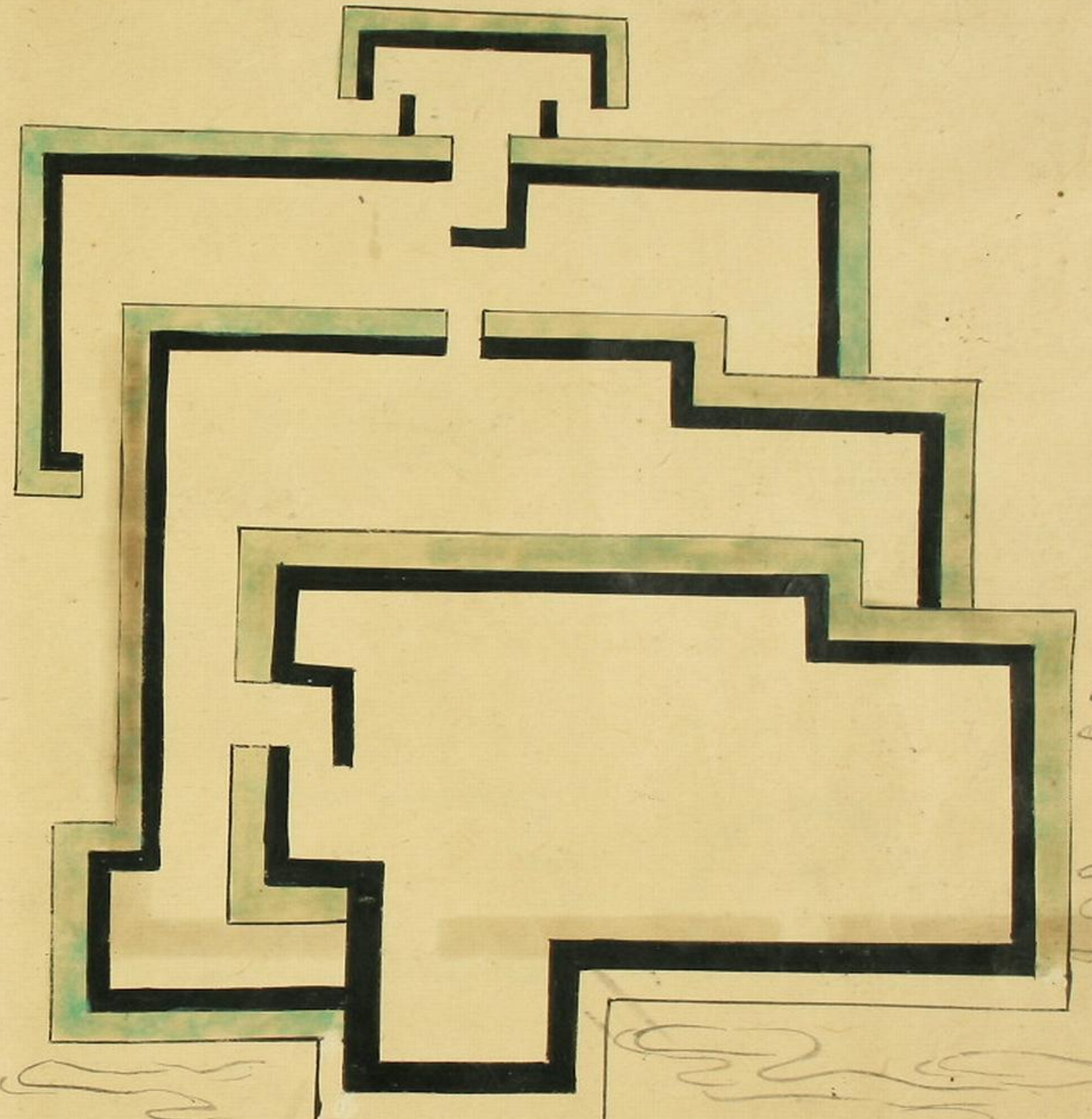
以下上ノ画疊七上云所ノ二ニ条目ニ當見シ





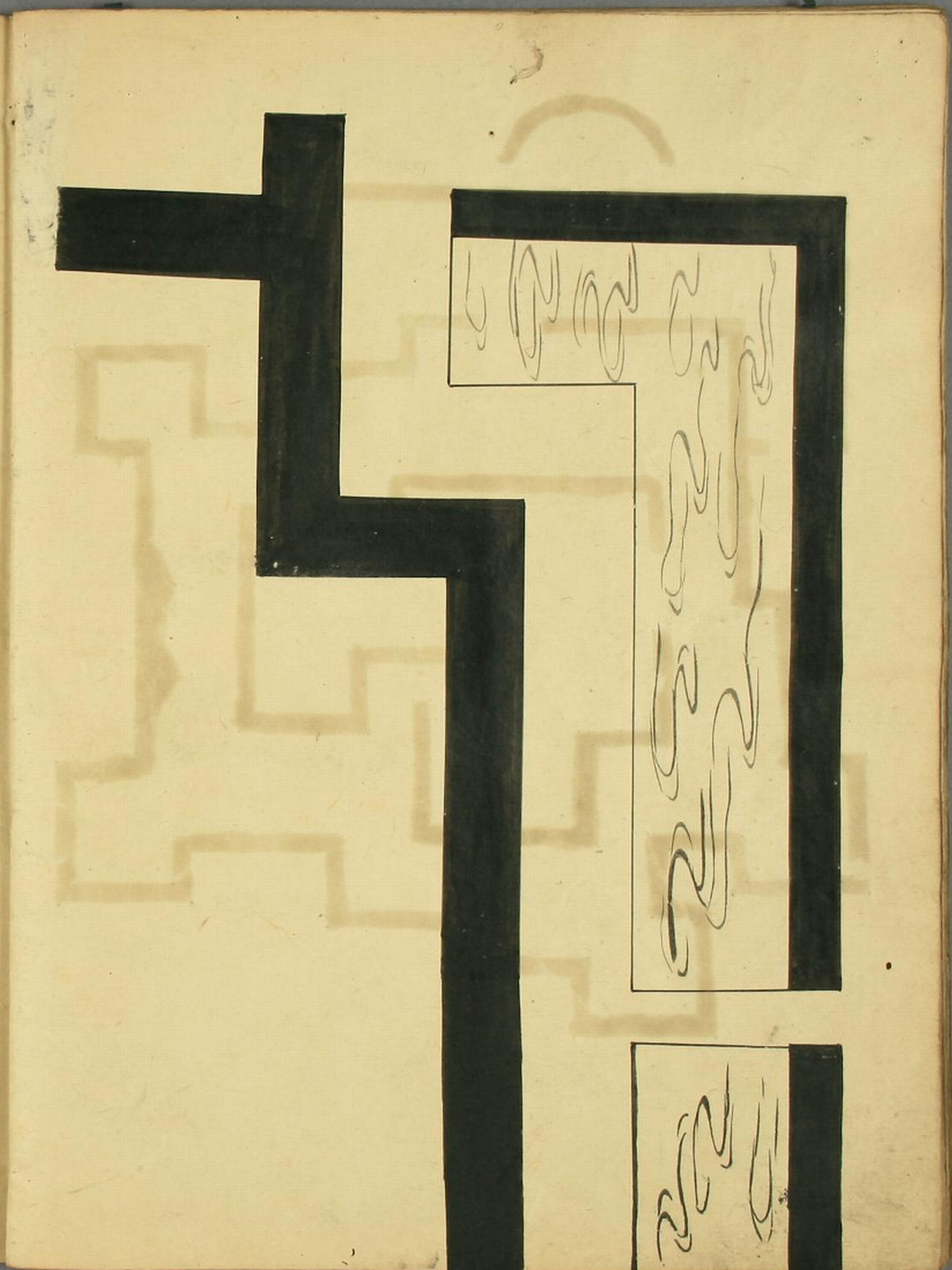
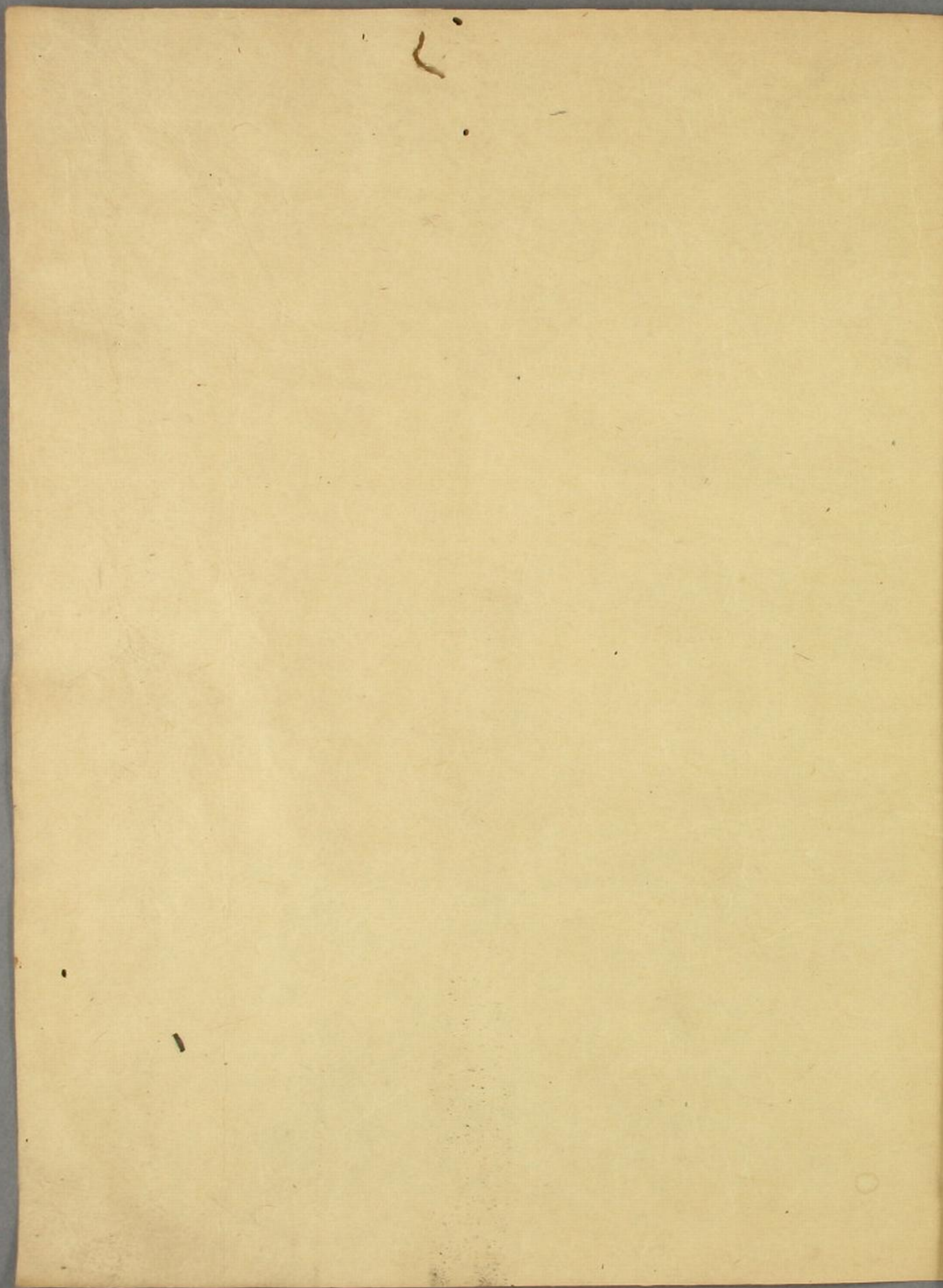


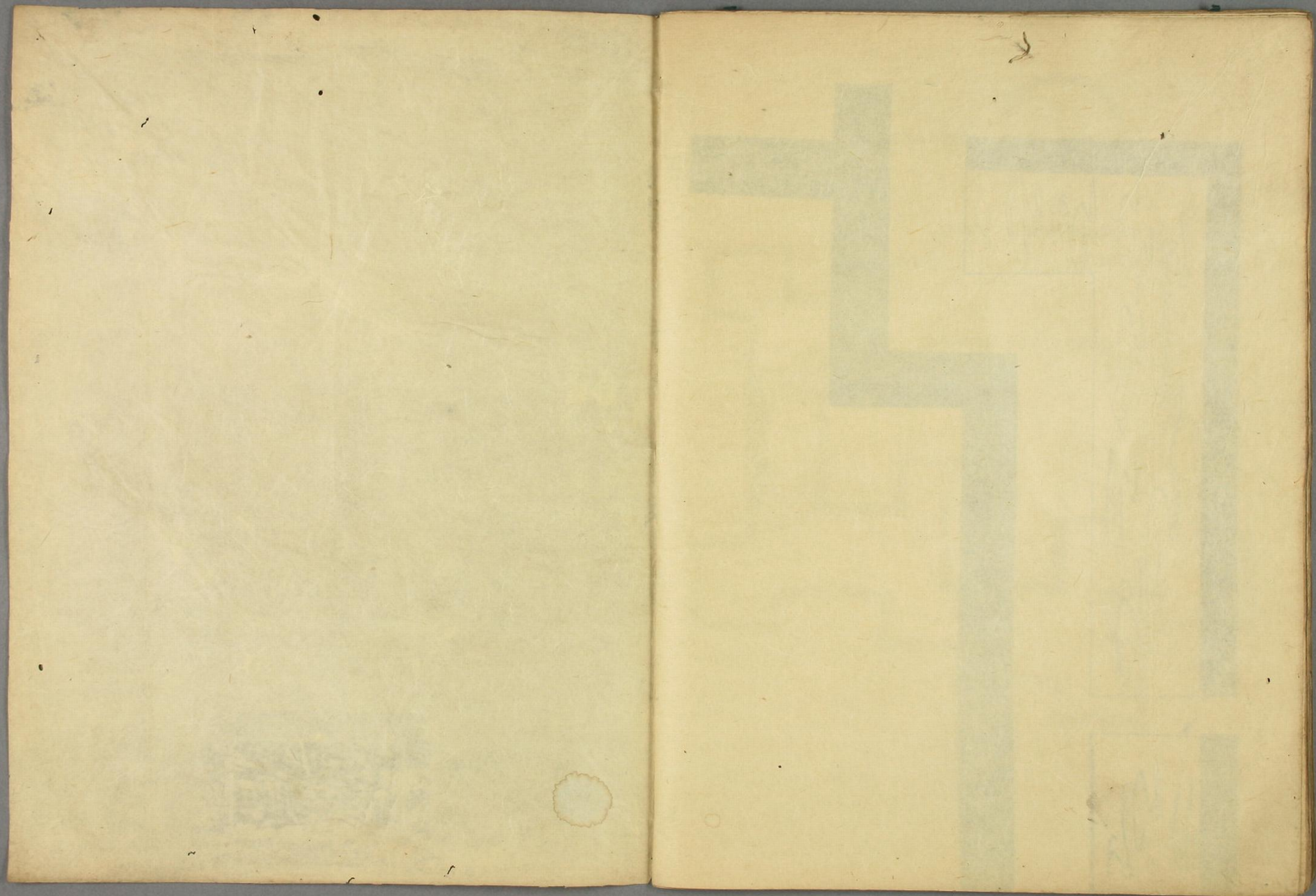
五



五







早稲田大学図書館

011888006666